

「集落での人権・男女共同参画学習会」

中町区・北条区で開催

地域での学習会が開催されています。今回は秋津中町区・太田北条区で出された意見を紹介します。

■「女性も区長に」と言  
うが、区長業務は幅広く、  
改革していかないとかな  
か難しい■男だから、女だ  
からといった言葉は使っては  
いけないのか■男には男のプ  
ライドがあり、男が責任を  
取るのは当たり前で妻は俺  
について来ることで、幸せを



△秋津 中町集落での学習会



△太田 北条集落での学習会

感じている■女の人はいろいろ  
な場面で前に出てと言わ  
れても、やらないことが多い  
気がする■私はタンスのど  
こに下着があるか分からない  
が、少しはそういう事でも  
自立しなければいけないと  
思った。  
■コミュニケーションからは  
「性差は認め、互いに人間と  
して理解しあう事が大切」

働き方・暮らし方を問いなおす  
—安心して働く環境を求めて—

県ではチャレンジ支援事業として竹信三恵子さん(朝日新聞記者)と清川輝基さん(チャイルドライン支援センター理事)の対談形式の公開セミナーが開催され、市からは共同参画推進委員・コミュニケーター・市民・企業社員の12名が参加しました。



△働き方に関して対談するお二人

竹信さんは、「一家での働き手  
が男性だけでは難しくなり「男」  
「女」はこうといった性別役割分  
担を言っていない時代だ。働  
かなければやっていけない、で  
も働き続ける事が難しい。非正  
規雇用は働く女性の過半数に達  
した。安い労働で貢献する女性  
から税と年金を支えられる女性  
へ。職場では、労務管理の人が  
もつと学んで必要性を認識して  
欲しい」と話され、清川さんは



「長野県男女共同参画審議会会  
長をやっているが、県の学校教  
育の場で女性校長は全国最下位  
(8.1%)である。男が重要で  
女は下働きという事を子ども達  
は見て小学校から刷り込まれて  
いる。いきなりは無理でも5年  
後には全国で、せめて中位にし  
たい。そして子育ては社会的行  
為という認識が必要だ」と提言  
されました。  
参加者からは▼男女共同参画  
を女性の社会進出の観点で捉え  
ていたが、責任を分かちあひ負  
担が軽くなるという、男性にとつ  
てもプラスな事だとわかった▼  
自分が自分らしく生きていくに  
は声を出していかなければいけ  
ないと思つた▼会社でも今回の  
セミナーを活かしていきたい等  
感想がありました。

一口メモ

～女性と仕事～

M字型・・・女性の労働力率は結婚、出産、子育て期に低下し、年齢階級別就業率のグラフでは、M字型になりますが、潜在的労働力率をみるとM字のくぼみは小さく就業希望はあるものの、実現出来ていないと言えます。  
飯山市でも全国と同様に、25～39歳の女性の就業率が落ち込み全体でM字となっています。

未来通信

カラーセラピー講座開催

私たちのまわりには様々な色があります。色は心や身体に影響を及ぼしている、何気なく選んでいる色の中に、自分でも気付かない心や身体の状態が表われるのだそうです。  
色の持つている意味を知り、色と身体と心がどのようにつながっているのかを学びました。カラーセラピーの3原色は青・黄・赤で、青はみなもとの色メッセージは平和・自由・責任感、黄は神経の色メッセージは知識・好奇心、赤は命の色メッセージは情熱・積極的とのことでした。



カラーボトルを選ぶ



の持つ意味を紐解きながら自分の持つている可能性に気が付き、自分らしい生き方のヒントを見つけたいという声が多かったです。色鉛筆で塗り絵をして主観色を知る、104種類のカラーボトルから好きなボトルを選んで性格や現在の課題を知る、色とメッセージを知る、数字と色の関係を知るなど楽しみながら学ぶことができました。  
参加者の声\*すぐく不思議な時間で、自分を見つめ自分と会話する時間だった。\*色からのメッセージを素直に受け取り生活していきたい。\*癒しの時間が持てた。心が求めている色を知り、今までわからなかった答えが見つけれ

大正琴入門講座開催

哀愁をおびた音色が心に響く大正琴。大正時代に誕生した新しい和楽器で、5本の弦をピックで弾きます。



指先に集中して熱心に練習する

初めて弾く人がほとんどで、指の使い方やピックの持ち方から始めました。「さくらさくら」「荒城の月」「浜千鳥」「月の砂漠」など6曲の弾き方を練習しました。むずかしいけれど、楽器に触れ弾く楽しさを味わうことができました。

くらしのセミナー

ダンボール箱で堆肥づくり

～エコな暮らし始めませんか～

毎日の生活の中で増えつづけるゴミ。環境を守るためにゴミ減量化の取り組みがなされています。飯山市のゴミの現状や分別はどうなっているのでしょうか。水分を多く含んだ生ゴミは焼却炉に大きな負担がかかります。家庭で簡単にできる生ゴミのリサイクル、ダンボール箱を使って生ゴミを簡単に堆肥化できる方法を学びませんか。環境にやさしい生活を始めましょう。

講師 飯山くらしの会・市生活環境室  
日時 11月15日(水)午後1時30分～3時30分  
場所 女性センター未来  
受講料 無料 どなたでも参加できます  
お問い合わせ 女性センター未来 電話 62-0543

人権政策課男女共同参画係  
電話：0269-62-3111  
FAX：0269-62-5990 (内線 371)  
E-mail: jinken@city.iiyama.nagano.jp  
いいやま女性センター未来  
飯山市大字飯山 1431  
電話・FAX：0269-62-0543  
E-mail: center-mirai@city.iiyama.nagano.jp